

空間情報総括監理技術者

資格認定試験の

合格率17・6%

日測協

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は2021年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の合格者を発表した。94人が受験し、19人が合格した（合格率17・6%）。本年度の合格者を加えた資格者の総数は412人。合格者は協会のホームページに掲載する。資格の有効期間は5年。資格の更新には「測量技術者継続教育証明制度（測量CPD）」の所定のCPDポイントの取得が条件となる。

「空間情報総括監理技術者」資格制度は05年に創設された。空間情報の関連事業の企画・提案・監理の能力を有する技術者を認定するための制度で、有資格者は、日測協の「地理空間情報専門技術者」のさらに上位のクラスの技術者として日測協会長が認定する。

資格は国土交通省、国土地理院、地方農政局、森林管理局、日本建設情報総合センター（JACIC）や地方公共団体が発注する提案型業務などでの評価要素の一つとして活用されている。